

地震だ！津波だ！すぐ避難！！

津波対策マニュアル

東日本大震災の教訓を生かし、警報の種類によっての区分けをせず、最良の状況判断で対応しましょう。

		強い地震が起こったら 弱い地震でも長時間揺れを感じたら	津波注意報が出たら ※サイレンは鳴らない。 広報より注意喚起	津波警報が出たら (津波5秒<6秒>大津波 3秒<2秒>のサイレン)	警戒宣言が出たら
登 校 途 中 下 校 中 ・ 在 校 時	登 校 途 中	子どもたちや家庭の対応			
	下 校 中 ・ 在 校 時	学校での対応			
	下 校 途 中	子どもたちや家庭の対応			
在 宅 時	平 日	○各家庭で対応する。 学校は、避難場所として開放する。			
	休 業 日	○各家庭で対応する。 学校は、避難場所として開放する。			

*夜、及び休業日（少年団等の活動時も含む）においても、学校は避難場所として開放する。＜体育館及び校舎＞……緊急時の鍵は交流館及び近隣の方に預けてあります。＞

＜わが家のやくそく＞ その時、あなたは、どうする？

右の避難ビルや避難場所を確認しながら家族で話し合ったり、学区を歩いたりしましょう。

登校時	
下校時	
家にいる時	
友だちの家 にいる時	
その他	
避難場所	第1次《 》 第2次《 》
勤め先	だれにかけるか
電話番号	() - -
親戚などの	だれにかけるか
電話番号	() - -
学校の 電話番号	054-334-0721

＜三保地区津波避難場所＞

○ 避難ビル

1. 三保シーサイドホテル「福田家」
2. 東海大学三保研修館
3. 介護有料老人ホームベストライフ
「三保の松原」
4. 東海大学附属幼稚園
5. 東海大学総合資料センター
(旧東海一高)
6. (株)三保造船所
7. (株)カナサシ重工
8. カナサシクラブ
9. J E Eエンジニアリング総合事務所
10. 日本平消防署三保出張所

※ベイコート清水 ※さつきフレンドハウス「えん」

○ 広域避難場所

1. 清水三保第一小学校
2. 清水第五中学校

＜非常事態時の対応＞

○ 学校への安否確認連絡

学校にいる児童については、メール配信システムが使用可能時は、学校側より児童の安否を連絡します。冷静な対応をお願いいたします。

(メール配信システムが不能の場合は、携帯、固定電話等で連絡を取ります。非常事態時は、電話機器すべてが使用できない可能性もあります。)

登下校時などのように、学校外にいる場合などの児童の安否確認は、メールが使用できれば、メール配信システムを利用します。

「**お子様の確認がとれた場合は、必ず『開封を知らせる』を実行してください。**」と送信しますので、安否確認のご協力をお願いします。『開封を知らせる』を実行すると、学校側で返信確認ができ、安否が確認できます。

万が一、使用不可能の場合は、携帯電話もしくは、個々に人海戦術での対応になると思います。その際も、とにかく誤った情報を流さない。冷静に行動するよう心がけたいものです。

なお、学校側から連絡がない場合、もしくは連絡がとれない場合は、安全を最優先し、何らかの方法(直接学校に報告、代理人を通して報告など)で、学校まで安否確認するようご協力をお願いします。

いずれにしましても、お子様には「**自分の身は自分で守る。**」「**とにかく高い場所へ逃げる(避難ビルの確認)**」「**学校が近い場合は、学校(三保一小、第五中)に避難**」など、＜わが家のやくそく＞について、お子様と十分話し合いをしておいてください。

ぜひ、地域で協力し合い、三保地区の子どもたちを守っていきましょう。